

# インターロッキングブロック舗装 Technical Report

## － 施工編 － (その5)

Vol.37

### 1. 敷砂と目地砂の確認

敷砂と目地砂の受入れ時の確認事項について以下に示します。

#### 【敷砂と目地砂受け入れ時の注意点】

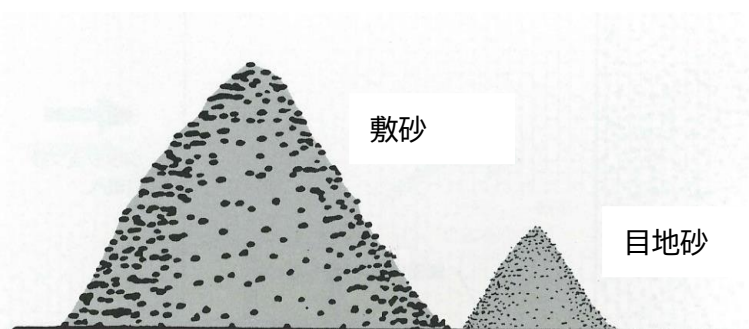
- 敷砂の品質規格(表1)と目地砂の品質規格(表2)を満足するかどうかを「骨材試験表」等で確認します。
- 再生砂は、75 $\mu$ mふるい通過量が品質規格(5%以下)を満足しないものが多いため、使用する場合は必ず「骨材試験表」等で確認します。
- 空練りモルタルを使用することはできません。

表1 敷砂の品質規格

項目		規格値
最大粒径		4.75mm以下
75 $\mu$ mふるい通過量		5%以下
粗粒率(FM)		1.5～5.5
細粒化抵抗性	交通区分 IL3 (大型車交通量 100 台/日・方向未満)	突き固め試験(JIS A 1210 突き固めによる土の締固め試験方法)で 67 回試験後の 75 $\mu$ mふるい通過量が試験前に比べて1%未満であること。
	交通区分 IL4 (大型車交通量 100 台/日・方向以上 1,000 未満)	突き固め試験(JIS A 1210 突き固めによる土の締固め試験方法)で 300 回試験後の 75 $\mu$ mふるい通過量が試験前に比べて1%未満であること。

表2 目地砂の品質規格

項目	規格値
最大粒径	2.36mm以下
75 $\mu$ mふるい通過量	10%以下



以上